

保存版

# NISA解説ガイド 2026（活用編）

保有限度額1,800万円を最大化する  
賢い資産形成の3つのシナリオ



栃木銀行グループ

とちぎんTT証券



# あらためて「NISA」とは？

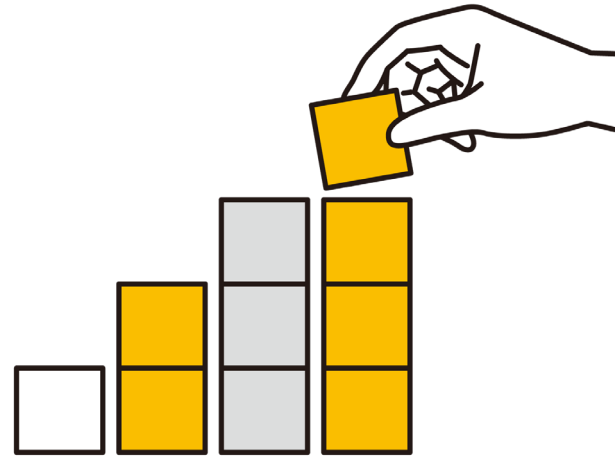
2つの投資枠の役割と基本スペックを確認しましょう

	つみたて投資枠	成長投資枠
対象年齢	1月1日時点で18歳以上(成人)	
年間投資枠	120万円	合計360万円 240万円
投資期間	無期限	
非課税で投資できる枠	最大1,800万円(うち成長投資枠1,200万円)	
対象商品	長期・積立・分散投資に適した 一定水準を満たす投信、ETF (金融庁指定)	原則、制限なし ※監理・整理銘柄や毎月分配型・ 高レバレッジ型・信託期間20年 未満の投資信託等は除外
投資方法	積立投資に限る	一括投資・積立投資
非課税枠の再利用	可能 (簿価で管理、売却の翌年以降に再利用)	



「つみたて投資枠」・「成長投資枠」2つの枠は 併用が可能です。  
合計で年間 360万円 まで非課税で投資できます。

# つみたて投資枠を活用 するメリットとは？



つみたて  
投資枠

# NISA「つみたて投資枠」の活用ポイント

- ① 少額から無理なく始められる
- ② 価格が上下しても買付単価を平準化することが可能(ドルコスト平均法)
- ③ 国が厳選した長期向け商品だけが対象
- ④ 売却・引き出しは、いつでも自由(ライフイベントにも対応可能)
- ⑤ 「つみたて投資枠」で資産形成の土台を作ることが可能

# つみたて投資のカギを握る「ドルコスト平均法」の効果とは・・・？

## 【ドルコスト平均法の仕組み】

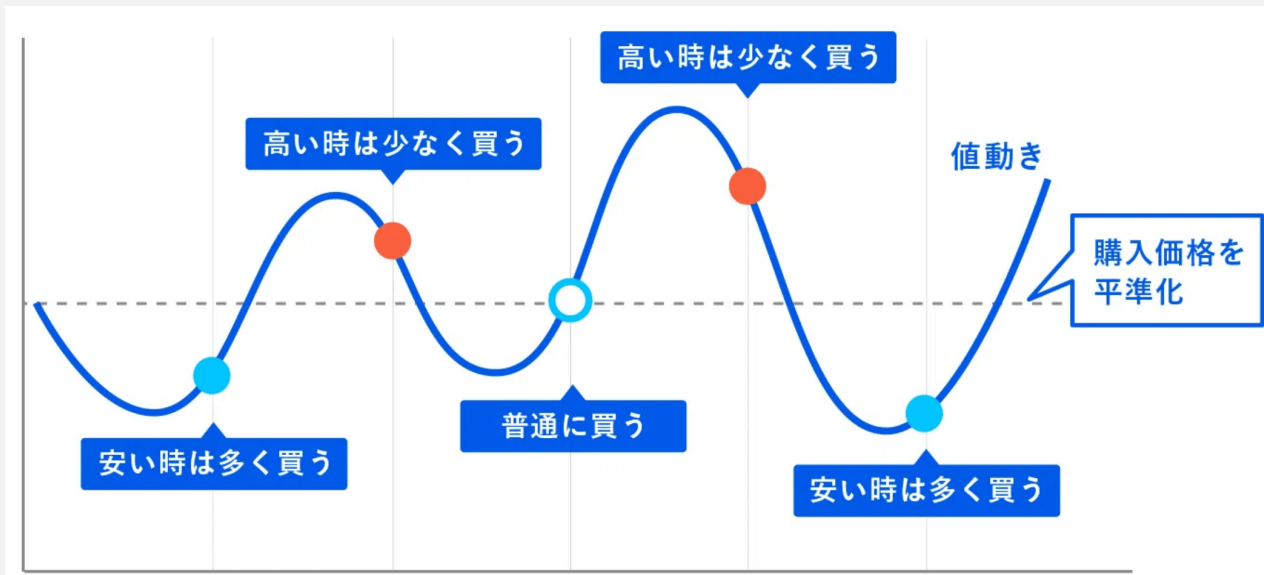
**毎月、決まった金額で金融商品を購入し続ける投資手法**です。時間をかけて、段階的に資産を積み上げていきます。

## 【リスク軽減のメカニズム】

価格が高い時は少なく、安い時は多く購入できるため、**購入単価が平準化**されます。市場の変動に強い投資が実現します。

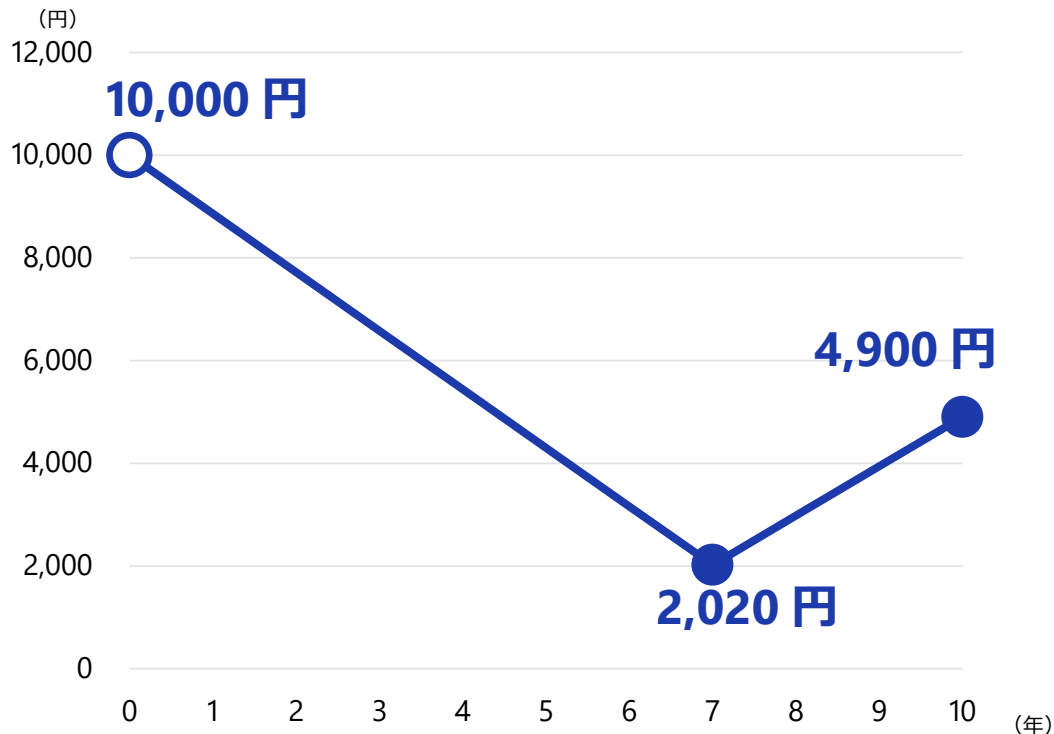
## 【高値掴みを避ける】

一度に大金を投資する「一括投資」と異なり、**最悪のタイミングで全額投資するリスクを回避**できます。



# 【問題】突然ですがクイズです ～「積立（つみたて）」＝ドルコスト平均法の効果～

【問題 1】 下の図のような値動きをする【投資信託A】に、毎月1万円ずつ、10年間積立て（投資総額120万円）します。投資総額の120万円は10年後にはどうなるでしょうか？



【解答選択肢】  
評価額は積立した120万円よりも

- ① 少ない
- ② 多い
- ③ 変わらない



## 【問題1】の答え

**【解答1】 ② 多い**  
**(約137万円)**

基準価額 × 口数 ÷ 10,000 = 資産評価額

**【 4,900円 × 2,796,810口 ÷ 10,000 = 1,370,437円 】**

**ドルコスト平均法**

**定額購入  
(積立投資)**

総購入口数

**2,796,810口**

平均購入単価

現在評価額

総投資金額

1,200,000円

4,290円

1,370,437円  
(+170,437円)

**一括購入**

総購入口数

**1,200,000口**

平均購入単価

現在評価額

総投資金額

1,200,000円

10,000円

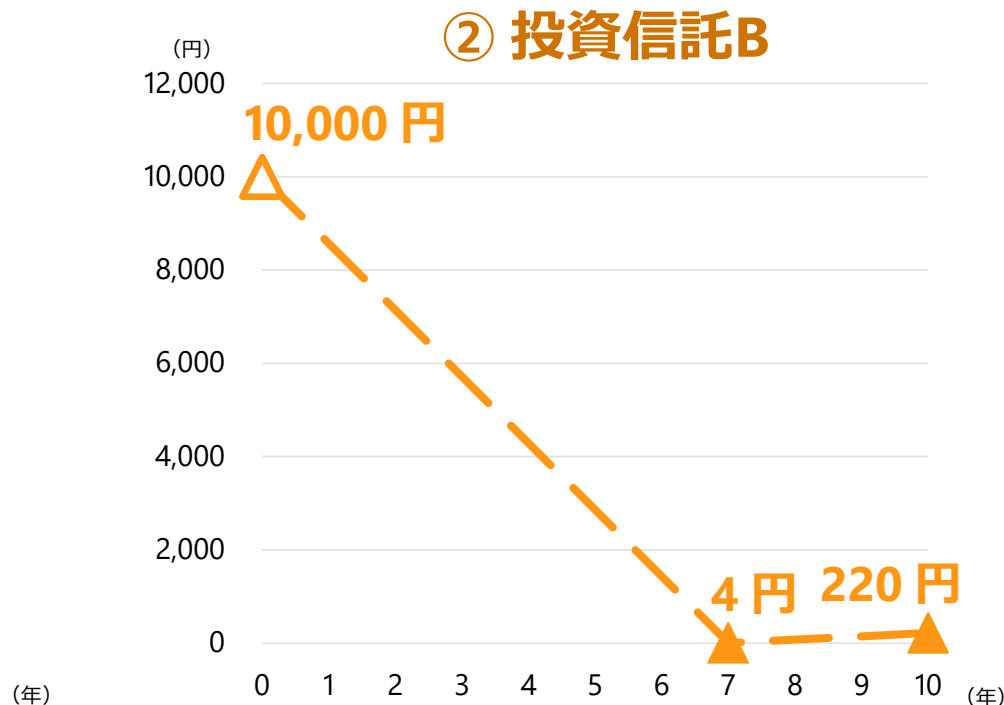
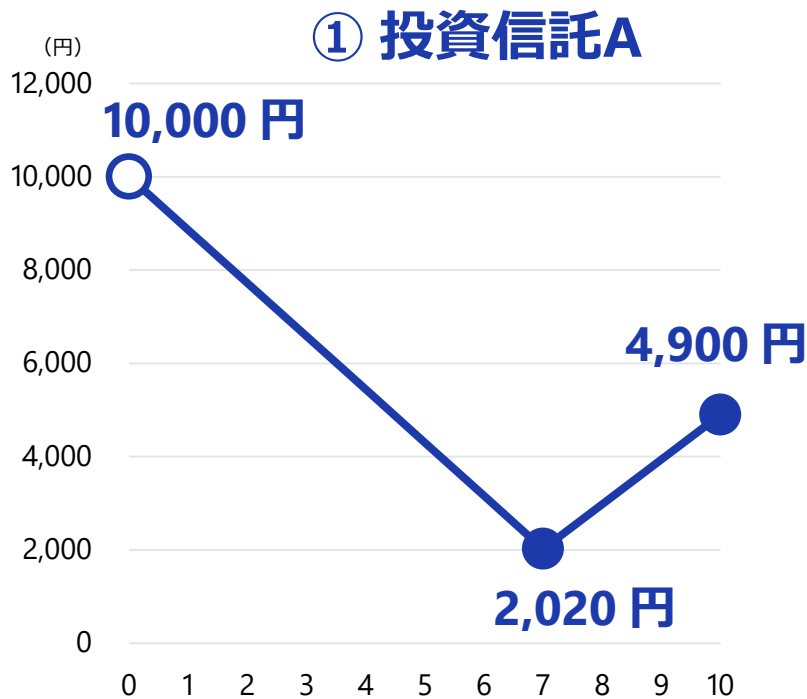
588,000円  
(-612,000円)



このような値動きの場合、定額での「つみたて投資(ドルコスト平均法)」は平均購入単価を下げることができ、価格が下がった時に多くの口数を購入できることがポイントになります。

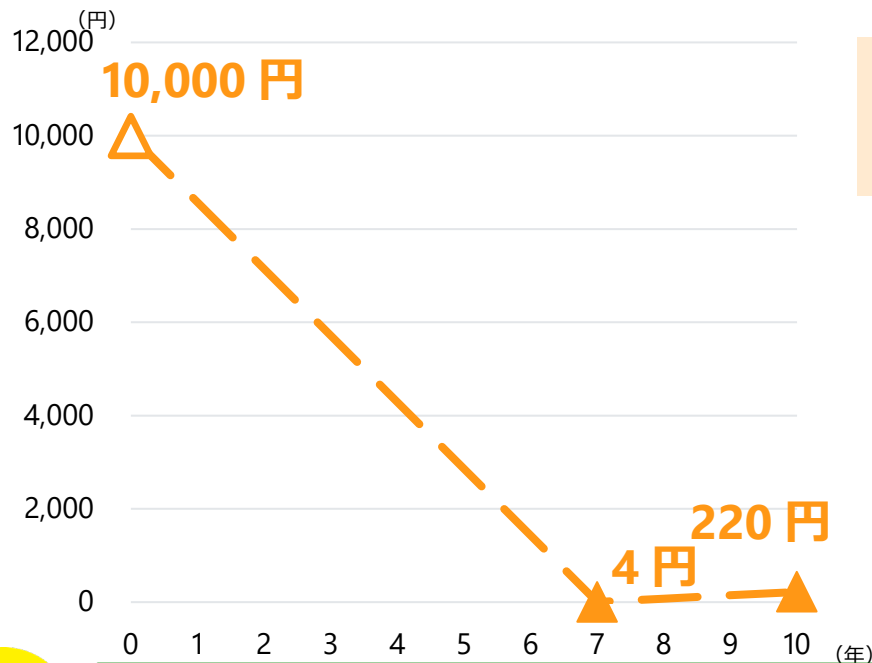
## 【問題】 どちらが多い？

【問題 2】 下の図のような値動きをする ①【投資信託A】と ②【投資信託B】に、毎月1万円ずつ、10年間積立て（投資総額120万円）します。10年後は①と②どちらが金額が多いでしょうか？



## 【問題2】の答え

### 【解答2】②の方が多 (約190万円)



#### 投資信託Bの評価額

$$220円 \times 86,386,294口 \div 10,000 = 1,900,498円$$

#### 投資信託Aの評価額

$$4,900円 \times 2,796,810口 \div 10,000 = 1,370,437円$$



ドルコスト平均法の効果の特徴として、価格が一時的に下落しても、「ある水準」まで戻ればプラスとなります。ポイントは、値下がり時に自動的に買い増すことで購入口数が増え、平均の購入単価が下がるため、その後の上昇で利益が発生しやすくなります(※下げ幅が大きいほど、効果大)。

## 【つみたて投資枠】 よくある失敗事例

- ✓ 下落で不安になり、積立を止めてしまう（最も多い）
- ✓ 短期の成績で商品を乗り換え続ける（コストとブレが増える）
- ✓ 無理な金額設定で生活費が足りなくなった
- ✓ 「人気ランキング」だけで選び、当初の目的とズレてしまう



暴落時こそ積立の出番。止める前に「ルール」を再確認しましょう。

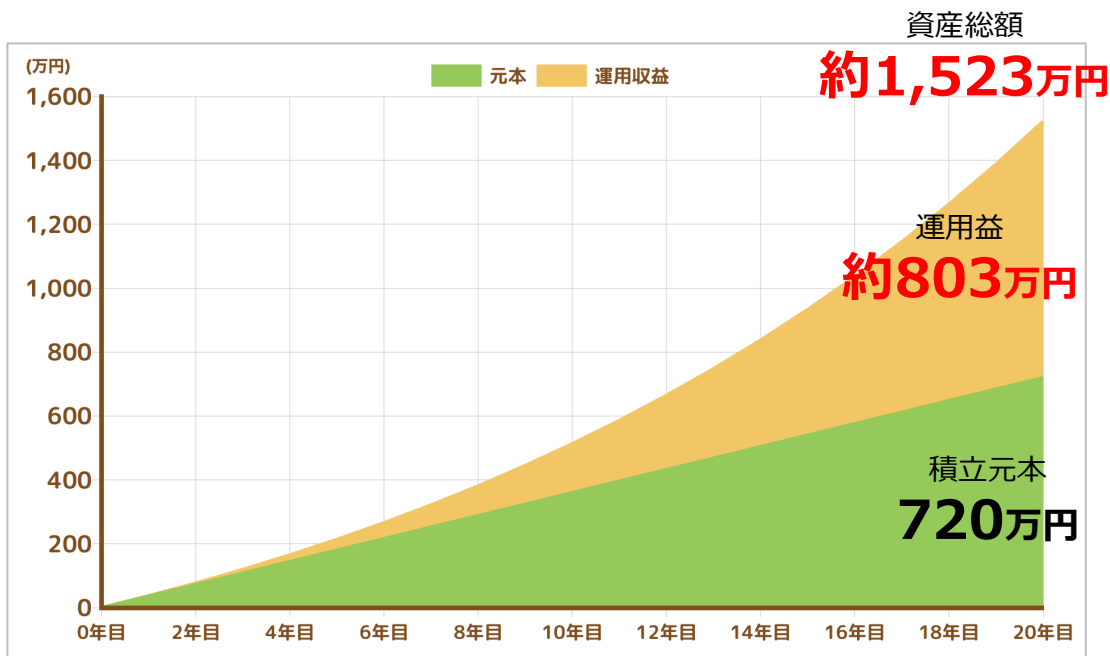
# 【つみたて投資のポイント】 複利の力：時間を味方につける運用術

毎月3万円を20年間運用(年利7%)

**約1,523万円**

元本720万円(3万円×240ヶ月)に対し、運用益は約803万円。  
利益がさらに利益を生む「複利」の成果です。

早く始めるほど、  
雪だるま式に資産が増える  
「複利効果」は大きくなります。



# 成長投資枠を活用 するメリットとは？



成長  
投資枠

# NISA「成長投資枠」の活用ポイント

- ① 幅広い選択肢から自分に合った商品を選ぶことが可能
- ② 一括投資・タイミング投資、つみたて投資が可能
- ③ 「つみたて投資枠」との併用で非課税メリットを最大化
- ④ 売却・引き出しは、いつでも自由(ライフイベントにも対応可能)
- ⑤ 「成長投資枠」でリターンを積極的に狙うことも可能

# 【成長投資枠の特徴】対象商品が広く、戦略の自由度が高い

上場株式

投資信託

ETF

(上場投資信託)

REIT

(不動産投資信託)

ただし、以下に該当する商品は投資対象から除外

《以下に該当する上場株式等》

- × 整理銘柄: 上場廃止が決定している銘柄
- × 管理銘柄: 上場廃止基準に該当する恐れがある銘柄

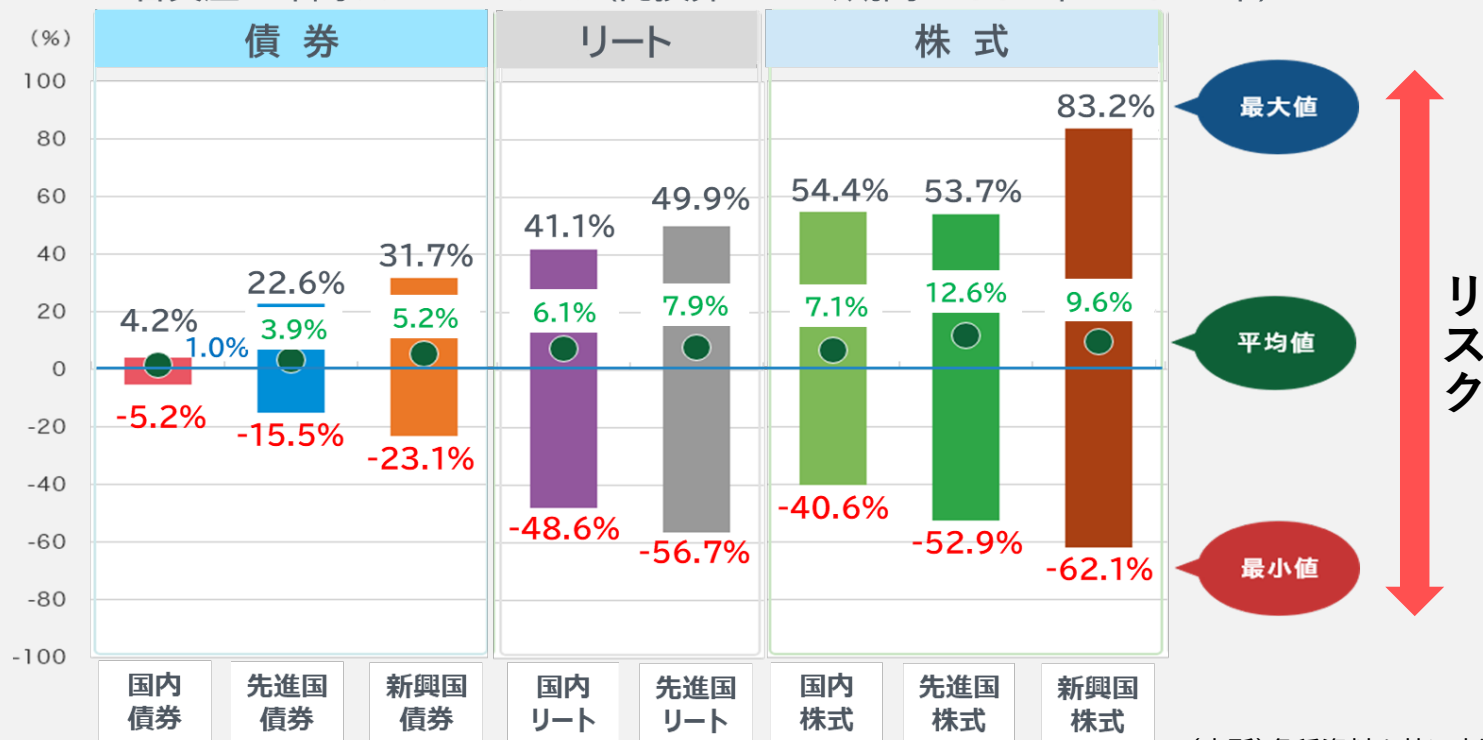
《以下に該当する投資信託等》

- × 信託期間が20年未満
- × ハッジ目的以外でデリバティブ取引を利用
- × 毎月分配型

# 【ご参考】「成長投資枠」を活用する前に確認しておきたいこと

幅広い商品に投資することができる「成長投資枠」だからこそ、目指す運用成果と各々のリスク許容度に合わせて投資対象資産を選択することが大切です。

各資産の年間リターンとリスク(円換算ベース、期間:2007年~2024年)



## 【成長投資枠】 よくある失敗事例

- ❑ 商品の選択肢が多すぎて、判断ができない
- ❑ 下落で不安になり、投資を止めてしまう（最も多い）
- ❑ 短期的な利益を優先してハイリスク・ハイリターンの投資
- ❑ 無理な金額設定で生活費が足りなくなった



暴落時こそ積立の出番。止める前に「ルール」を再確認しましょう。

# 自分に合ったスタイルで2つの枠を**活用**しましょう！

## ✓ 【つみたて投資枠】

「コア資産(インデックス)」をじっくり育て、土台を固める

## ✓ 【成長投資枠】

つみたて投資枠では買えない投資信託や個別株式にチャレンジ

✓ つみたて投資枠は“守りの資産形成”、成長投資枠は“攻めの資産形成”の位置づけ

✓ 月々の積立は「つみたて投資枠」で、ボーナス時など余裕があるときは「成長投資枠」を使ってスポット購入



つみたて  
投資枠

成長  
投資枠

# NISA口座(つみたて投資枠、成長投資枠)をご利用いただく上でのご留意事項

## [共通事項]

- NISA口座は全ての金融機関を通じて、同一年において1人1口座に限り開設することができます。(金融機関を変更した場合を除きます。)
- NISA口座における譲渡損失は、税務上なかったものとみなされるため、特定口座や一般口座で保有する他の上場株式や株式投資信託等の売却益や配当金等との損益通算はできません。また、譲渡損失の繰越控除も認められません。
- NISA口座の年間投資枠(NISA口座で年間に購入可能な金額)は一度売却しても再利用はできません。また、年間投資枠の未使用分を翌年以降に繰り越すことはできません。
- NISA口座の非課税保有限度額(NISA口座で保有できる上場株式等の累計買付金額の上限)は売却することにより、その金額分の非課税保有額が減少し、翌年以降に減少した分を新たに利用することができます。
- 公募株式投資信託の分配金のうち元本払戻額(特別分配金)はNISA口座での保有であるかどうかに関わらず非課税であるため制度上のメリットを享受できません。

## [成長投資枠に関する事項]

- 当社成長投資枠でご利用いただける有価証券は「国内上場株式、国内ETF、国内ETN、J-REIT、外国株式、国内公募株式投資信託」となります。当社では外国株式投資信託、転換社債型新株予約権付社債(CB)は取扱いの対象外とさせていただきます。
- 投資信託の分配金の再投資は、その年の非課税投資枠を利用します。
- NISA口座で保有する上場株式等(ETF、REITを含む)の配当金等を非課税で受け取るためには「株式数比例配分方式」をお申し込みいただき、証券会社経由で配当金等を受け取る必要があります。なお、外国株式については「株式数比例配分方式」の制度はございません。外国株式の配当金については非課税となりますが、配当金が非課税となるのは国内税額のみで、外国税額は課税扱いとなります。(外国税額控除の適用を受けることはできません。)

## [つみたて投資枠に関する事項]

- 当社つみたて投資枠でご利用いただける有価証券は、一定の要件を満たした金融庁に届出がされている「公募株式投資信託」となります。
- つみたて投資枠での商品の購入方法は、累積投資契約に基づいて予め定められた金融商品を定期的に継続して購入する方法に限られます。
- 投資信託の分配金の再投資は、その年の非課税投資枠を利用します。
- つみたて投資枠で買付けた投資信託の信託報酬等の概算値が原則として年1回通知されます。

# 【とちぎんTT証券からのお知らせ】

- 金融商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料等（国内株式取引の場合は約定代金に対して上限1.265%（税込・とちぎんTT証券ダイレクトによるお取引の場合は0.759%）の委託手数料、投資信託の場合は銘柄ごとに設定された販売手数料及び信託報酬等の諸経費等をご負担いただく場合があります。
- 金融商品等には株式相場、金利水準の変動等による「市場リスク」、金融商品等の発行者等の業務や財産の状況等に变化が生じた場合の「信用リスク」、外国証券である場合には「為替変動リスク」等により損失が生じるおそれがあります。さらに、新株予約権等が付された金融商品等については、これらの「権利を行使できる期間の制限」等があります。なお、信用取引又はデリバティブ取引を行う場合には、その損失の額がお客様より差入れいただいた委託保証金又は証拠金の額を上回るおそれがあります。
- 手数料等およびリスクは、金融商品等ごとに異なりますので、契約締結前交付書面や上場有価証券等書面または目論見書等をよくお読みください。



栃木銀行グループ

とちぎんTT証券

商号等：とちぎんTT証券株式会社 金融商品取引業者  
関東財務局長(金商)第32号  
加入協会：日本証券業協会